預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は２つのサジダ（平伏礼）の間に、こう言っていた：「アッラー フンマ・グフィル・リー、ワ・ルハムニー、ワ・アーフィニー、ワ・フディニー、ワ・ルズクニー。」

イブン・アッバース（彼らにアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は２つのサジダ（平伏礼）の間に、こう言っていた：「アッラーフンマ・グフィル・リー（わが主よ、私を赦して下さい）、ワ・ルハムニー（私を慈しんで下さい）、ワ・アーフィニー（私を無事安泰にして下さい）、ワ・フディニー（私を導いて下さい）、ワ・ルズクニー（私に糧をお恵み下さい）。」 [真正] [イブン・マージャの伝承 - アッ＝ティルミズィーの伝承 - アブー・ダーウードの伝承]

イブン・アッバース（彼らにアッラーのご満悦あれ）は、このように伝えている：預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は２つのサジダ（平伏礼）の間に、こう言っていた：「アッラーフンマ・グフィル・リー（わが主よ、私を赦して下さい）・・・」 つまり、預言者は義務か任意かを問わず、礼拝における２つのサジダの間に、これらの祈りの言葉を唱えていた。礼拝は全てズィクル（念唱）と、クルアーンの読誦である。 「アッラーフンマ・グフィル・リー」とは、「お咎めすべきところを大目に見て、私を（罪が露わになることから）かくまって下さい」という意味である。 「ワ・ルハムニー」は、現世と来世の善を私にお恵み下さい、そして私の罪を隠し、私への問責を免除することで、私にあなたのご慈悲をおかけ下さい、という意味である。 「ワ・アーフィニー」は、私の宗教においては悪や疑念を生じさせるような物事から、私の身体においては病気や不調から、私の理性においては低下や狂気から、私を安全で無事な状態にして下さい、という意味である。そして最大の病は、心の病である。それは迷妄へと至る、疑念を生じさせる物事によるものか、または破滅へと導く欲望によるものである。 「ワ・フディニー（私を導いて下さい）」に関しては、導きには２種類ある： １つは、真理と正しさの道へと示し、教導する種類の導きである。これはムスリムにも、不信仰者にも起こり得るものである。アッラーは仰った：『またサムードはといえば、われらが彼らに導きを示した後、導きよりも（迷いという）盲目を好んだ。』 （クルアーン４１：１７） ２つ目は、成功と受け入れの種類の導きである。これは信仰の徒に特化されたものであり、ここで言わんとしているのは、この種類の導きである。つまり、「私を真理へと導き、そこにおいて確立させて下さい」という意味である。 「ワ・ルズクニー」の意味は、この世において、私が他人に乞うことを必要とさせないよう、私に十分な糧をお恵み下さい、そして来世においてはあなたが恩恵を授けられる僕たちに準備した、豊かな糧をお恵み下さい、というものである。

http://sunnah.global/hadeeth/ja/show/10930